令和８年度　第１回新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会　議事録

日時：令和８年９月１日(火)　午後２時～午後３時２０分

場所：新潟市役所　本館３階　対策室１、２

出席者	（委　員）大花委員　長谷川委員　山口委員　菜原委員　小出委員 北山委員　中野委員　山田委員　髙橋委員　川上委員 計１０名
	（庁内委員）市民生活課長　消費者センター長 市民協働課係長、主査 新潟市教育委員会学校支援課課長補佐 北区区民生活課係長　中央区総務課係長 江南区区民生活課主査　秋葉区地域総務課係長 西区総務課主査　西蒲区地域総務課主査　　計１１名
	（事務局）市民生活部長、市民生活部副参事 安心・安全推進室長　同室係長　同室主査３名　計７名
	◆会議内容 ○開会 ○市民生活部長あいさつ ○委員自己紹介
事務局 （市民生活課安心・安全推進室吉井室長）	○会議成立 本日は１１名の委員のうち１０名がご出席ということで、過半数を超えておりますので、本協議会規則第５条第２項の規定により会議が成立しております。 本協議会は新潟市付属期関等に関する指針により公開させていただきます。
事務局 （市民生活課安心・安全推進室吉井室長）	○議事 それでは議事に入ります。 新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会規則第５条の規定により会長より議事の進行をお願いいたします。
議長 （大花委員）	それではこれより次第に従いまして議事を進行してまいります。 なお、本日の協議会は午後４時閉会予定ですので、ご協力よろしくお願いします。 それでは初めに次第３議事(１)第６次推進計画における数値目標の達成状況についてです。 事務局から説明の方お願いします。
事務局 （市民生活課安心・安全推進室片山係長）	＜議事（１）第６次推進計画における数値目標の達成状況ついて資料説明＞

議長 （大花委員）	それでは、ただいまの事務局からの説明について、ご質問・ご意見がございましたら、挙手のうえご発言お願いします。
中野委員	(２)の防犯講習会の開催数についてです。 「一般　３回」と記載がありますが、どういった場が「一般」というものになるのでしょうか？ 具体例やどういう場所なのかを教えてください。
事務局 （市民生活課安心・安全推進室大澤主査）	「一般」については「その他」と考えてください。 「子ども」というのが体験型安全教室とひまわりにおける防犯講習会です。 その他の、例えば自治会、地域の会合、大学や専門学校等における防犯講習会が、この「一般」になります。
中野委員	それは相手から依頼が来て実施するのでしょうか？
事務局 （市民生活課安心・安全推進室大澤主査）	そうです。 「一般」は相手からの申し込みがあって初めて実施しています。 その点が、実施回数が低調である原因になっていると考えております。
中野委員	新潟市のホームページか、何かを見た相手からご依頼が来る形ですか？
事務局 （市民生活課安心・安全推進室大澤主査）	市政さわやかトークという新潟市が実施している出張型講習会のうち、防犯分野のものを防犯講習会としています。 さわやかトークは市民生活課のみではなく、市全体として広報を実施しております。 市全体の広報に加え、市民生活課において広報誌等による申し込み募集に努めているところです。
中野委員	回答ありがとうございます。 「一般」に関して、最近振り込め詐欺被害等が増加しているので、高齢者対象のものもあるかと思います。 これから敬老会などのシーズンになります。 どこの団体も催し物に毎年苦労していると思うので、そういった需要に対し広報していくのもひとつの手かなと思いました。
山口委員	青色回転装備車について、活動者のご年齢は平均的に何歳くらいでしょうか？ 経済的な負担があるかと思いますが、ボランティアとして無償で活動しているのでしょうか？
事務局 （市民生活課安心・安全推進室吉井室長）	活動者の年齢については把握しておりません。 しかし、この活動が低調である原因として、担い手不足と言われており高齢化が進んでると考えております。 また、この活動はボランティア活動であり、無償で行ってもらっております。

	この活動をするためには、車両の用意、ガソリン代、諸々手続きが必要であること等がなかなか増加しない原因と考えております。
議長 （大花委員）	私もこの点に質問があります。 ガソリン代の負担等が青色回転灯装備車のネックになってる部分があるのではないかというご説明でしたが、この点、市の方で補助や団体を助けるような方法は用意されていますか？ 用意されていないのであれば、なにか代わりの方法を考えていますか？
事務局 （市民生活課安心・安全推進室吉井室長）	他都市において、青色防犯パトロール団体に対するガソリン代等の補助制度があることの把握はしております。 一方、青色防犯パトロール以外にも、地域では様々な自主的な活動も行われているところ、公平性の確保等が困難であることから、今のところ新潟市では青色防犯パトロールに対する補助制度はありません。 そんな中、煩雑な手続きの負担等について、ある程度行政が一緒に行う等することで補助に取り組んでいきたいと考えております。 団体が増えるような方法を新潟市として考えてはいきたいと思っております。
議長 （大花委員）	青パトが走っていると「悪いことはできない」という風に思う方もいるようです。 青パトは、わかりやすくていい防犯活動だと思っておりますので、金銭的な面は難しいにしても、何か補助ないし助けるような方法を取っていただけると非常にありがたいと思います。
菜原委員	私も今の青パトの件ですが、区別では北区が１０団体６４台とすごく多いですね。 北区は前から青パトが盛んな土壌があると聞いたのですが、北区独自で何か取組をされているのか教えてください。
北区防犯担当 （北区区民生活課滝沢係長）	北区では団体数が多く、昔から防犯の意識が高い地域だったと聞いております。 青パト制度ができた時に一生懸命お声がけした結果、青パト団体が増えたと聞いております。
菜原委員	団体の担い手は、高齢者の方のみではなく、次世代の新しい方も入ってきているのでしょうか？
北区防犯担当 （北区区民生活課滝沢係長）	従事者の名簿を確認していると、新しく人が入ることはあまりないようです。 徐々に従事者が減っている状況だと思います。
議長 （大花委員）	議事の(２)第６次推進計画の取り組み状況と重点取り組み事例について、事務局から説明をお願いします。
事務局	＜議事（２）第６次推進計画の取り組み状況と重点取り組み事例に

（市民生活課安心・安全推進室片山係長）	ついて説明＞
議長 （大花委員）	ただいまのご説明について、ご質問・ご意見等ございましたら発言をよろしくお願いします。
楽原委員	女性の安全対策について、配偶者暴力事案は被害者が男性の場合もあると思いますが、女性だけが対象なのかを教えてください。 報道では男性被害のＤＶもあり、男性は訴える場所がないと言われていました。 確かに女性が被害者になりうる確率は高いとは思うのですが、痴漢行為であるとかそういった迷惑行為は男性被害もあり得ると考えます。
議長 （大花委員）	女性の安全対策について、所管は男女共同参画課ですが、本日欠席ですので事務局からお答え願います。
事務局 （市民生活課安心・安全推進室吉井室長）	基本的には女性に対する性被害やDV被害防止に対する対策です。 今担当課が不在なので、現在詳細が分かりかねます。 いただいた意見は担当課と共有し、計画に反映していきたいと思います。
市民生活課 （市民生活課平野課長）	男性相談については、男女共同参画課で男性相談員が電話相談を月1回実施しており、男性からの夫婦のこと、DVのことについての相談窓口があります。 男性だけ相談できないという状況にはありません。
楽原委員	公共施設の防犯性の向上について、記載してあるのは児童センターに設置している防犯カメラによる防犯性の向上ですが、これは小学校も対象になるのでしょうか？
学校支援課 （教育委員会学校支援課五十嵐課長補佐）	小学校の防犯カメラについて、不審者の侵入を防ぐという意味や不審者対策として学校の玄関等に防犯カメラを設置している学校はございます。 ただ、全ての学校に設置されてはいません。
楽原委員	防犯カメラを設置しているかしていないかは各学校の判断で決めているということですか？
学校支援課 （教育委員会学校支援課五十嵐課長補佐）	はい。 各学校の要望を受け、可能な限り防犯カメラの設置など安全対策として対応していこうと考えています。
議長 （大花委員）	それでは議事を進めさせていただきます。 次は議事の3第7次推進計画（案）についてです。 事務局から説明をお願いします。

事務局 （市民生活課安心・安全推進室大澤主査）	＜議事（３）第７次推進計画（案）について説明＞
議長 （大花委員）	それではただいまの説明について、委員の皆さんから何かご質問・ご意見がありましたらお願いします。
長谷川委員	防犯講習会についてお聞します。 先ほど、なかなか「一般」の数が増加しないものの、周知活動は実施しているとの話でしたが、直接コミュニティ協議会に伺って周知活動を実施していますか？
事務局 （市民生活課安心・安全推進室主査大澤）	現状直接伺っての周知活動は実施していません。 実際にそのような周知活動が可能かどうかを確認したうえ、実施について検討したいと思います。
山田委員	私は校長会の生徒指導部としてこの会に参加しています。 第７次計画の中で、子どもへの教育という項目があります。 その項目中、（１）家庭におけるしつけ、さらにア、イの項目について、私の意見が反映されており、ありがたいと思っております。 実は家庭におけるしつけについて、市内の校長会で情報交換する際、子供へのしつけで非常に苦労している場合、その背景には家庭環境が大きく影響してるものがあります。 その家庭はここに書いてあるア、イの取組が届かない。 要するに配布物を配られても家庭で見ないし、自分たちは何もしないという方が多いです。 学校が健康福祉課と協力して動いているっていう事案が実にたくさんあります。 ですので、この家庭におけるしつけに関して、行政の方から家庭に働きかけている事実が強く表記されてほしいというのが私の願い、意見です。
北山委員	第７次計画の中に空き地・空き家における措置について、これは第６次計画にも載っていたと思います。 しかし、第６次計画期間より第７次計画期間である令和９年度から13 年度の方が、空き地・空き家が増えるだろうということが推察されます。 令和８年度の対策の中で、江南区が「空き家の所有者へ情報提供の際、防犯対策チラシと同封してます」という取り組み事例を挙げていました。 空地・空家は今後増えてくる可能性があるし、防犯上もかなり重要になってくると思うので、この活動を全区対応するなど、情勢を踏

	まえた対応をご検討いただければと思います。
議長 （大花委員）	江南区防犯担当から、その取り組みについてご紹介いただけますでしょうか。
江南区防犯担当 （江南区区民生活課吉岡主査）	空き家や空き地の現地確認に行く際、不在のことが多いので、建物の郵便受けに防犯チラシを投函して防犯に関する周知を図っています。 チラシを投函することは比較的簡単な業務だと思うので、できたら全市として取り組んでいただきたいと思っております。
議長 （大花委員）	ありがとうございます。 周知図ることが重要なことだと思うので、今後も続けていただきたいですし、他の区でも検討していただければと思います。 貴重な意見ありがとうございます。
髙橋委員	警察本部の髙橋です。 今ほどの空き家の関係について、今年に入ってから空き家に対する窃盗被害が非常に増加しておりまして、今年の上半期で前年同期比3倍に膨れ上がっている状況です。 全国的に犯人グループが色々な県を訪れて、空き家の中の現金や金属類、金目の物を盗んでいくというような情勢があり、我々警察としても関係機関、不動産業界団体に対して空き家の管理を呼びかけているところであります。 こういった現状があることを皆様にご理解いただきたいです。 これからも空き家はどんどん増えてくと思いますが、現状を周知していただきたいというのが我々警察としてのお願いであります。 空き家に対する窃盗は今、特殊詐欺と併せて、刑法犯認知件数を押し上げている一つの要因ともなっていますので、各区でできることを実施していただきたいという要望であります。
事務局 （市民生活課安心・安全推進室大澤主査）	補足させてもらいますと、安心・安全推進室としても警察と共同して空き家に関する広報を実施しております。 直近では、来月の広報誌に空き家対策の具体的な方法を記載しており、２４２団体に配布する予定です。 また１０月は新潟市防犯月間であります。 この機会に新潟市の公式 LINE やデジタルサイネージ等の広報媒体を利用して、空き家の防犯対策を呼びかけていきたいと考えております。
川上委員	重点目標の中の防犯講習会について、この項目に交通安全講習会を入れた方がいいと思います。 日頃、交通安全講習会をやっていると満足するのではなく、例えば今日から施行された道路交通法の改正などについてはタイムリーに、計画的に講習会を実施すべきです。

事務局 （市民生活課安心・安全推進室吉井室長）	防犯だけでなく交通安全に関しても、基本的には各区の交通安全担当が講習会を開催しています。 道路交通法の改正などに関する講習会ついても検討してもらいたいという意見があったことを区の担当者と共有していきます。
議長 （大花委員）	若年者の薬物、特に大麻ですけども、大麻事犯が非常に増えていると認識しております。 その対策として、この計画では子供の体験型安全教室等になるのでしょうか？
事務局 （市民生活課安心・安全推進室大澤主査）	体験型安全教室とひまわりの防犯教室については小学校低学年に対して実施しているものです。 特に体験型安全教室は小学１年生対象です。 これらについては不審者対策に特化しています。 薬物については計画中、別項目を設けており、子どもへの教育などで薬物対策を実施しております。
山田委員	薬物に関しては、小学校の保健体育の授業の中で教科書にも扱っています。 ですので、どこの学校でも授業を行っているのと、大体薬剤師さんに来てもらって、薬物の危険使用がどういう影響を及ぼすのかについて学習しています。
学校支援課 （教育委員会学校支援課五十嵐課長補佐）	中学校でも薬物乱用防止教室を２年生時に開催しています。 薬剤師会との共同で実施しております。
桒原委員	学生ボランティアとの連携という話がありましたので、提案します。 ボランティアをした時にボランティア証明書を発行してほしいという意見が西蒲区自治協議会の中で学生ボランティアからありました。 ボランティア証明書は各種試験で有利になるというところもあるようですので、ご検討お願いしたいと思います。 ボランティア証明書は発行元が決まっているわけではなく、独自で作っていいようです。 ひな形についてはインターネットに掲載されており、入学試験や就職試験で提出できる証明書であると聞いています。 新潟市のホームページでは、新潟祭りの清掃ボランティアに証明書を希望する場合は発行するといった告知があったと思います。
事務局 （市民生活課安心・安全推進室	ボランティア証明書について概要を確認のうえ、どういった対応ができるか検討してまいります。

大澤主査）	
議長 （大花委員）	それでは最後に、この会議全体を通してご意見等がございましたらご発言をお願いします。
山口委員	防犯活動が盛んに行われていて、素晴らしいと思っております。 いつもありがとうございます。 防犯力が高い地域社会作りはとても大切だと思うのですが、親世代は時代的にも不審者等については危機感を持つようになっており、黒い格好した人は不審者であるといったイメージ付けがされていたりするので、過剰な世の中も嫌だと思っています。 そういった点を、少しでも柔らかくできていける社会づくりをどうすべきかについても検討していただきたいです。 例えばですが、挨拶運動など、その地域の繋がり力を高めていけるような仕組み作りができるといいと思いました。
事務局 （市民生活課安心・安全推進室 大澤主査）	おっしゃる通りで不審者数はここ数年多いと感じております。 警察は、不審者はどういう格好してるか分かりませんという風に指導しております。 そのような指導の中、突然挨拶運動等ふれあいを強調した施策を実施するのは、正直なかなか難しい面があり、調整が必要になります。 しかし、行政の強みは広報力・発信力です。 地域社会作りについては、先ほど話題にでました防犯月間でもテーマの 1 つに掲げてますので、積極的に取り組んでいきたいと思います。
議長 （大花委員）	皆さん活発なご意見をいただきありがとうございました。 議事につきましては、以上で終わります。事務局に司会をお返しします。
	○閉会
報　道	なし
傍聴者	なし